

緑綬褒章おめでとう

千葉民医連事務局長
秋元 稔

「健康友の会ふれあい」の緑綬褒章受章おめでとうございます。

健康友の会の前身「健康クラブ」から60年。「無差別平等」の理念を引き継ぎ、献身的な入院患者への支援活動や地域での高齢者ボランティア活動など、高く評価されたものです。ひきつづき、「いのはち平等」を貫く民医連と地域の皆様とともに、「いつまでも安心して住み続けられるまちづくり」に向け、「一緒に力を合わせましょう。」

千葉健生病院事務局長
渡邊喜代子

この度の緑綬褒章の受賞おめでとうございます。地道な活動がこうしたかたちで認められた事を心より嬉しく思っております。皆さんの活動が地域に根ざして大きくひろがっていることを実感しています。

共同薬局局長
笹島英子

「健康友の会ふれあい」の皆様、受賞おめでとうございます。理念に基づいた皆様の毎日の実践が認められた受賞だと思えます。皆様が活動しておられるお姿を拝見して、皆様に支えられて仕事ができることを誇りに思います。

まあぶるひろ所長
白井真理子

「緑綬褒章受賞」本当におめでとうございます。「健康で安心して住み続けられるまちづくり」をめざし20年以上の長きにわたり、入院患者さんや地域住民の方への様々な支援をおこなって来られたこと、本

当にすばらしいことだと思います。友の会が今後ますます発展されることを期待し、お祝いの言葉とさせていただきます。

いつまでも安心して住み続けられるまちづくり

■ふれあい昼食会

緑綬褒章受章おめでとうございます。高齢者のお食事作りを諸先輩の方々から引き継いで早や6年。敷かれたレールを脱線することなくスタッフ13名で幕張公民館をお借りして月1回、第4金曜日にワンコイン・500円で、楽しいおしゃべりの場としてお役にたてればとの思いで頑張っております。

毎月2、3回のメニュー決めと買い出しを楽しみながら60食を作っております。物価上昇の折ですが、皆



■ふれあい喫茶

今回、栄えある緑綬褒章を頂きボランティアの一員として大変嬉しく思います。普段の地道な活動が認められ、また地域の皆さんのご支援があった結果だと思っております。

「お互いさま」のふれあいの心を大切に、住み慣れた家での生活が続けられますように活動を続けてまいります。

「お互いさま」のふれあいの心を大切に、住み慣れた家での生活が続けられますように活動を続けてまいります。

野田尚志
福祉会事務局長

友の会の長い歴史と皆様の献身的な活動への受賞を大変嬉しく思います。これからますます地域を丸ごと支える役割が医療・介護福祉には必要になってくると思えます。

友の会の皆さんがまずは健康で元気でいて頂き、今後も職員へのご指導と院所・事業所へのご協力よろしくお願ひします。

「地域に広げよう健康づくりの輪」を柱にして取り組み30年になりました。地域の多くの方に健康診断を受けてもらう一つのきっかけづくりとして、商店街、駅、健康まつり等で取り組んで来ましたが、無料で相談場所です。

「友の会だより」に詳しい「友の会と私たち」に詳しい褒章の中身が記されています。

■友の会デー(バザー)

月に1度の友の会デーも定着し、野菜やパンを心待ちしている方が、衣類雑貨が、始まる20分前から行列がでたり、皆さんからの期待を感じます。

「友の会と私たち」に詳しい褒章の中身が記されています。

「友の会と私たち」に詳しい褒章の中身が記されています。

健生病院グループとつむぎ

▼清拭布づくり

この度の受賞はとも名譽なこと、ボランティアの一員として、ずっと続けてきてよかったと思えました。清拭布づくりは、20年以上の歴史があります。会員さんから提供された古布を裁断して、入院患者さんの清拭に使用します。

▼外来案内
私は、病院移転時にボランティアとしてお手伝いを始めました。私よりずっと前からボランティアをされている方が大勢おり、娘には内証なんですよとおっしゃって病院の基金に協力してくださいと患者さん。みんなでも少しづつ出しあつて大きな輪ができます。そして、この輪に大きな花が咲きました。こんな嬉しいことはありません。今後も続きますように。

▼入浴介助
受章、とてもうれしいです。「まくはりの郷」の入浴介助は今年で16年目になります。患者さんとかかわりの中で生き方の勉強になります。自分のためになつていきます。

▼病棟ボランティア
入院患者さんに少しのお

▼友の会コーナー
入会、会費納入の受付など、日々笑顔をやさしく

▼友の会だより
「友の会と私たち」に詳しい褒章の中身が記されています。

▼友の会事務所
新聞社から、緑綬褒章受章のインタビューの電話がありました。聞きなれない言葉に戸惑いました。

▼友の会35周年誌
友の会はこれまでどんなことをしてきたのか。先頃発行された友の会35周年誌

友の会活動を支えて

友の会はこれまでどんなことをしてきたのか。先頃発行された友の会35周年誌



平成25年秋の褒章

健康友の会ふれあい

緑綬褒章を受章

友の会が取り組んできた「安心して住み続けられるまちづくり」の活動が評価され、「健康友の会ふれあい」が緑綬褒章を受章しました。

伝達式に出席して

小西ひで子

11月13日、平成25年秋の褒章伝達式に参加し、褒章を戴きました。

厚生労働省の2階講堂にて、11時から式は厳かな雰囲気の中で始まりました。

閉式の辞

国歌演奏

褒章伝達

厚生労働副大臣の挨拶

閉式の辞

緑綬褒章の出席は、個人

8、団体9でした。

開式までの時間、隣り合わせの方と情報交換。手話サークルが3団体（36年間続いているとのこと）の受章が印象に残りました。

氏名

健康友の会ふれあい

功績概要

社会奉仕活動功績

主要経歴

現 医療施設等

奉仕団体

(内閣府ホームページ)

褒章受章者名簿から

緑綬褒章とは

緑綬褒章は、社会奉仕活動に従事し、顕著な実績のある個人などに授与される。平成25年秋の受章者は、8名、13団体。千葉県の受章者は、「健康友の会ふれあい」1団体のみ。

11月3日付で発令。11月13日に厚生労働大臣より伝達された。

の種蒔きから絶え間なく連続して取り組んできた友の会の活動が花開き、緑綬褒章受章に結実したものです。

健康友の会

ふれあいの歩み

鈴木春夫

1986年の「ふれあい」(昼食会)発足、その後、生活支援「たすけ愛」(03年・介護保険では対応できない助け合い)、高齢者の一人

ぼつちをなくそう!と、高齢者訪問(01年)、「ふれあい喫茶」(07年)など、安心して住み続けられるまちづくりに取り組んでいます。

清拭布づくり、ガーゼ折り活動(01年)、病院外来案内、友の会コーナー(04年)、花クラブ(09年)など、医療と介護の拠り所、健生病院・診療所、まわりの郷、からたちと共に活動してきました。

また、これらの活動を支える新聞『友の会だより』の編集・発行・発送・配布に、事務局など、友の会活動に多くのボランティアが参加しています。

これまで「ふれあい」は千葉市長、千葉日報から表彰、厚生労働大臣賞(10年)を受賞しました。

「社会奉仕活動に従事し顕著な実績」は、諸先輩方々

社会奉仕活動の歴史

「地域に一人ぼつちの高齢者をなくそう」と始めた「ふれあい昼食会」など私たちのボランティア活動が緑綬褒章を受章すること、びつくりしました。

仲間と一緒に「よかつたね」

高橋明子



左から産経、千葉日報、読売新聞掲載記事

「よかつたわね」と電話をくれたのは、食事会の献立や調理に、最初から一緒に取り組んでいたIさん、思い出話に花が咲きました。

たぐさんのボランティアアさんとともに、調理や血圧測定などの病院職員、会場施設を提供の公民館などに支えられた食事は毎回、笑顔に包まれていました。

転居したり、施設に入ったりして、今ほもうバラバラになってしまった仲間たちですが、受章の知らせを一人一人に届けて喜びを分け合っていたらと思っています。

受章とてもううれしいです。ふれあい昼食会を13年続けられたのは、良きリーダーに恵まれ引つ張っていったからです。(伊藤工子) 私は13年間食事を作ってきました。私たちの後を引き継いで昼食会を続けてくれたことに感謝します。ともうれい受章です。(梅原るり子)

「認められてうれしい」の一言です。一人でも多くの人に喜んでもらえればと食事づくりに励んできよかったです。(石黒フジエ)

奉仕活動は

自らの意思で

金子静子

地域の人々のため、平等な医療を求めて奥山医院とし

てスタートして半世紀、健生病院友の会の礎を築いて来られた多くの方々、本場に沢山の会員さんの努力に支えられて、この度の褒章と、ボランティアの一人として非常に嬉しく思います。奉仕活動は人様のためと考える自分のため自らの意思で活動を続けることであり、まさに評価は後からついてくるものと実感した次第です。

先達の「志」を引き継いだボランティア活動も発展して現在は10種類以上になり、協力しあって継続して行くことが、今回の褒章を生かすことになるのではと思います。

緑綬褒章を喜ぶ

高橋孝治

ふれあい会の緑綬褒章受章を喜んでいきます。叙勲・褒章に対しては受否を含めて各論あるようですが、長い業界への貢献によつて紫綬褒章を受章し、内外の盛儀に誇らしげに佩用していた私の義父の場合などはごく一般的でしょう。ふれあい会の受章はまったく違います。

汚れ物の洗濯、ガーゼ折りや清拭布づくりなど、病院看護のお手伝いから始まった取り組みが、昼食会を節目にして、会員相互から地域に広がっていった活動が受章したのです。一緒に取り組んだ人たちの姿や顔が走馬灯のように浮かび上がってきます。みんなどんな喜びの中で受け止めているのでしょうか。

受章とてもううれしいです。ふれあい昼食会を13年続けられたのは、良きリーダーに恵まれ引つ張っていったからです。(伊藤工子) 私は13年間食事を作ってきました。私たちの後を引き継いで昼食会を続けてくれたことに感謝します。ともうれい受章です。(梅原るり子)

絵本の読み聞かせ

平成の初め頃、月に一度、小児科に入院中の子供たちと一緒に、病室で絵本を見ながら、読み聞かせをし、また年末には看護師さんたちと共にクリスマス会で大いに盛り上がりました。サントさんは誰かが話題でした。(近藤園子)

元友の会事務局長

斎藤江美子

緑綬褒章受章おめでとうございます。

友の会活動は、千葉健生病院のボランティアとして

緑綬褒章おめでとう

千葉健生病院院長

岡田朝志

健康友の会の皆さん、緑綬褒章の受章おめでとうございませう。長年にわたって会員の皆さんが地域で地道に続けて来られた活動が、世の中でこういった形で認められ、評価されるとは思いもかけない喜びだと思います。

地域の中で助け合つて安心して暮らしていくために健康グループの職員も一丸となつて力を発揮して参りたいと思います。皆さんの活動も更に末永く継続されることを期待しております。

友の会県連事務局長

奥田勢津子

この度の受章を心からお祝い申し上げます。

皆様の献身的な努力で長年続いている「ふれあい昼食会」は、地域の高齢者が待ち望む楽しいひととき

だけでなく、地域づくりの一端であると話し合い、千葉市ボランティアセンターに登録しました。

幕張公民館の協力で開催した「ふれあい食事会」はその後地域の社会福祉協議会の弁当配達にも広がっています。地域づくりのためのボランティアとして今後も期待します。

元友の会事務局長

加藤祐孝

おめでとうございませう。14、5年前に私が友の会事務所に着任した頃、今でこ

なっています。「美味しかった」の声、笑顔に感謝の気持ちを感じます。皆様の努力が評価されてこんなに嬉しいことはありません。本当におめでとうございませう。

千葉勤医協理事長

石川広巳

受章の報をいただいたときはすぐにびんときまません、何のことかしらばらく考えた次第でした。今村さんから詳細をお聞きして理解できましたが、本当にすばらしいことだと考えております。

昭和26年からの永きにわたり、健生病院の患者さんや地域の方に対する奉仕活動を多くの方に評価され認められたものと心からお喜び申し上げます。私も褒章の推薦や審査に関わったことがありますが、多くの方が賛成しないと受章にはつながりませぬ。

市民連の共同組織としてさらなる奮闘を期待いたします。

友の会の活動は地域の方や患者さんだけでなく、職員にも大きな影響がありました。今後さらにパートナーとして活躍していただきたいと期待しております。

そ全国に広がった「高齢者の居場所づくり」の一つ「昼食会」が、病院栄養科と地元社会福祉協議会や公民館との共同で月1回既に開催されてきました。とても楽しみに待たれていた高齢の皆さんの笑顔が思い出されます。

社会保障制度が削減・改善される下で公的な制度の充実を求めるたたかいを進めつつ、急速に高齢化と孤立化が進む今日、地域で待っている方々に支援の輪を更を広げて行かれることを心から期待しております。

友の会の活動は地域の方や患者さんだけでなく、職員にも大きな影響がありました。今後さらにパートナーとして活躍していただきたいと期待しております。

受章おめでとうございませう。地道な活動で地域住民の健康と生活を支えてきた友の会が、客観的に外部から評価されたことに大きな意味があります。

400人のボランティアというのには驚きです。安心して住み続けられるまちづくりの上で役割はますます大きくなるでしょう。

市民連の共同組織としてさらなる奮闘を期待いたします。

